



八幡市立南山小学校 図書室 令和5年6月号

梅雨に入ると、雨で外に遊びに行けなくなることが多くなりますね。そんな時こそ、本を読んで楽しんでみてはどうでしょう。お話の本の中にも、クイズやなぞときができるものや、ドキドキするお話など、いろいろ体験することができますよ。本選びにこまったら、えんりよなく西口先生に相談してみてくださいね。



6月5日(月)からは読書週間!

☆おすすめの本をカードに書いて、みんなに紹介します。

*2~6年生が参加します。おすすめの本は、みんなにもぜひ読んでほしいと思う本を選びましょう。今から本を決めておいたり、読んでおくといいですよ。

☆レビューバトル

*おすすめの本が書かれたカードを読んで、「一番読みたくなった!」と感じたカードをクラスで選びます。選ばれたカードは、図書室前にはり出されます。

☆シャッフル読み聞かせ

*9日(金)、みなさんの教室に先生方が絵本の読み聞かせにあらわれます。どの先生が読みに行かれるかはなしです。楽しみにしてくださいね。

☆ワード大賞 6月9日(金)まで受け付け

*3~6年生がおうぼできます。「ひとことメモ」の中から、すてきな表現が書けたと感じたものをおうぼしてみましょう。選ばれると賞品がもらえます。

☆三行詩 6月16日(金)まで受け付け

* (家庭で話そう! 我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ) をテーマに短い文を書きます。おうぼ用紙は、図書室にあります。

あたら はい ほん
新しく入った本



☆「それで、いい!」

いそ 磯みゆき 作 はたこうしろう 絵 ポプラ社

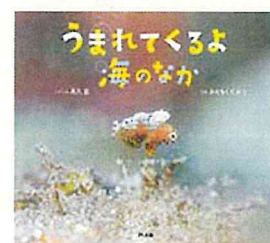
きつねは絵をかくのが大好きです。ところが「へんな絵」と友達にからかわれて、絵がかけなくなってしまう。

☆「よるのあいだに…」みんなをささえる はたらく人

ポリー・フェイバー 文 ハリエット・ホブデイ 絵
なか い 中井はるの 訳 BL出版



みんながねている夜の間に、町ではたくさんの人が働いています。いろいろな人が私たちの暮らしを支えてくれていることがわかります。



☆「うまれてくるよ 海のなか」

たかくいたる 写真 しやしん かんちくたかこ 文 アリス館

魚の卵を見たことがありますか? いきもののお父さんやお母さんは、いろいろな方法で一生けん命に卵を守ります。

☆「けんかのたね」



ラッセル・ホーバン 作 小宮由 訳 大野八生 絵 岩波書店

お父さんが、仕事でくたくたになって家に帰ってみると、家の中は大さわぎ。犬はねこを追いかけているし、4人のきょうだいは大げんか。わけを聞いても、みんな自分せいじゃないと言います。みなさんもそんな経験ありませんか?



うらめん つづ
裏面に続く →

☆「ライスボールとみそ蔵と」

よこたあきこ さく つかとしふみお え えほんじゆくしゅっぱん
横田明子 作 塚越文雄 絵 絵本塾 出版



ジュンは、自分の家の古くさいみそ屋が大きいです。ところが、帰国子女のユキちゃんとの出会いをきっかけに、ジュンの心が大きく変わっていきます。みその歴史や作り方、日本の食文化についても知ることのできる1さつです。

☆「秘密の大作戦！フードバンクどろぼうをつかまえろ！」

オンジャリQ・ラウフ 著 千葉茂樹 訳 スギヤマカナヨ 絵 あすなろ書房



「フードバンク」とは、品質には問題ないが売れなくなった食品を、満足に食事ができない家庭に届ける活動です。この「フードバンク」を楽しみにしている子どもたちですが、最近急に食べ物がなくなってきました。子どもたちは、その原因をさぐりはじめます。

☆「化石のよぶ声がきこえる」天才恐竜ハンターウェンディ・スロボダ

ヘレイン・ベッカー 作 サンドラ・デュメイ 絵 木村由莉 訳 くもん出版

すてきなものをみつけるのが得意なウェンディは、本物の恐竜の化石を見つけます。それは世界で初めて発見された角竜でした。今も活躍されている恐竜ハンターウェンディの伝記絵本です。



☆「給食室のいちにち」大塚菜生 文 イシヤマアズサ 絵 少年写真新聞社



毎日食べてる給食は、いったいどんなふうにつくられているんだろう。給食室のひみつを探りながら、調理員さんの一日をみんなで見学してみましょう。

☆「5番レーン」ウン・ソホル作 ノ・インギョン絵 すんみ訳 鈴木出版

小学校水泳部エース、勝つことがすべてだと思っていたカン・ナルが、他校生に負けてしまいます。勝てない苦しさやライバルへの対抗心とあせり、初恋にゆれる韓国発青春ストーリーです。



☆「中村哲物語」松島恵利子 著 汐文社



病気や飢えに苦しむアフガニスタンの人々を救うため、中村医師は白衣を脱ぎ、驚きの行動に出ます。それは砂漠となった土地に用水路をつくり、緑の大地をよみがえらせること……。65万人もの人の命を救った中村哲先生の伝記です。

☆「魔女だったかもしれないわたし」

エル・マクニコル 著 櫛田理絵 訳 PHP研究所

『魔女狩り』…「人としがう」というだけで処刑された時代が実際にあったことを知ったアディは、慰霊碑を作ろうと提案します。自閉的なアディは、自分の特性や悩みを抱えながらも本来の自分を理解してほしいと願います。多様性との共生を考え、理解を深めるすてきなお話です。



☆「ふたりのえびす」高森美由紀 作 フレーベル館

笑い福をまねく「えびす舞」を演じることになったのは、明るいキャラを演じている太一と転校生で女子に王子と呼ばれて大人気の大路優希。ぶつかり合いながらも練習を続けていく二人。「素で生きぬけられるほど、小学生ライフはあまくない」に思わず共感！



ぜひ、読んでみてください。

